

新「共通特論 I」：臨床腫瘍学総論
腫瘍免疫療法の実際

講義日：2023年6月17日（土）

講師：林 秀敏（近畿大学 腫瘍内科 教授）

要旨

本講義では、免疫チェックポイント阻害薬の基本原則から治療の実際までを紹介いたします。免疫チェックポイント阻害薬は患者さん自身の免疫システムを活性化し、がん細胞を攻撃する治療法であり、化学療法とその原理が異なります。PD-1/PD-L1 抗体などの進化は、多くの固形癌患者さんでの長期にわたる効果を示す一方で、一部の患者でしか効果が現れないという課題もあります。これに対する解決策として、免疫療法と他の治療法の組み合わせが行われています。加えて我々は患者さんに発生する免疫に関わる副作用である免疫関連有害事象をマネジメントする必要があり、これらを講義で紹介いたします。